

栄八通信

武雄市議会だより (フェイスブックも) 始めました

http://ei-8.info/

第84号

R4年14710月発行



武雄市議会議員 宮本 栄八 TEL・FAX 23-0750 携帯 090-5083-0793

ふるさと納税問題

最大の原因は武雄市にあり 市長が調査し責任を明確に!

百条委員会は、市の行政が正しく行われていたかを調査するもので、業者の証言は聞けなかったが、一定の不正は発見できた。

1 決裁の条例違反

委託業者の選定プロポーザルの最高決裁者が、副市長だが、前部長は、上に決済印をもらわず、勝手に決定していた重大な背任。

2 業者選定の不透明さ

選定委員は、先の部長以下関係市職員のみ計5人で選定、業者との面談はわずか、30分で、しかも大平商会は、委託実績がないが、返礼品の納入を少ししていたとして、それを実績と認めている点や従業員1名のみ、何の疑問も持たなかったなど選定の不合理さ。

3 契約保証金の免除と返金

令和2年度は、大平商会から契約保証金を徴収されていたが、4月に着任した企画課長は、3年度分を成果報酬型と勝手に判断し納付を免除している。

一方、令和2年度の契約保証金も、返礼品の遅延が疑われる中、2年度の出納閉鎖の直前の5月31日に返金していて、業者に協力しているとは思えないこと。

4 契約書を無視した支払い

契約書には、月2回の委託料を支払う時は、業務の進捗状況報告書に基づいて支払うとあるが、その書面を取らずに前払いしている違反。(約3千7百万円損害)

5 市の管理責任の重大な欠如

まず驚く事に、大平商会に市関

重大 産地偽装問題

百条委員会、最終日に判明したのが、市が返礼品納入業者と改めて直接市と契約行なって、市内電器店が、名前が勝手に使われて、高級電動歯ブラシなど2000件2億円を超える額が寄付されていることも判明した。

電器店には請求もなく金銭的な被害は無い模様。なぜこんなことが起きたかは、総務省の返礼品ルールの地元産品を欺くために、市外業者が、偽装納入伝票を作ったと思われる、総務省に報告すべき重大な事件で、市の説明責任は重い。

この「地元電器店の納入偽装」の他にも、「おせちの出品偽装」も判明した。これは、市内飲食物産の販売店は、大平商会との契約はしていたものの、おせちの出品は無いのに、誰かが出品していた案件で、こうなれば肉や米も県内産だったのか、心配になり調査を市に求めるも回答がない。

「寄付者を第一に」を真実実現する為に和解案を

寄付者あつてのふるさと納税

発送遅れは、事務の不手際だが、ちやんとした合意なしに、約束と異なる品に勝手に変更するのは武雄市。寄付者にしてみれば、待たされた上に、量を減らされたり他の肉に変えられるのは、納得できないと思う。一方、返金にしても、寄付者は、令和2年の税の修正申告をしなければならず、人によっては、所得税・住民税・国保税の追納になる人もあり、損害を受ける。多分寄付者の大半は納得できないし、怒りや不満の中にいる。

それが、9月と10月に市が寄付者に文書を送った代替策に対し、26848件の内の約7割、2万件が未回答との状況になっているものと思う。

この状況に、武雄市は「回答がない場合は同意した」とみなし、減量した返礼品を12月中旬に発送を終える。と強制終了し幕引きを狙う。私も通販で、同じものがないと、異なるものを送られた経験があるが、返品するにも送料がかかるため、泣き寝入りした経験もある。

事情はあろうが、受け手からは一種の「送り付け詐欺」と同じ状況。市長は会議で、「寄付者第一で考える」との発言で、私も全く同感。しかし、法に反して寄付額の3割以上の返礼品は送れないの一点張り、寄付者が一番の被害者になり、武雄市への信用は失墜している。私の解決策としては、総務省に尋ねたところ、返礼品が寄付額の3割で、送料を含めた経費が5割と定められているだけで、迷惑かけた感謝料の支払い等は、定めがなく自治体や議会の判断との話。

一方、さいたま市内の寄付者が、米15キロに相当する約80000円の損害賠償請求訴訟を起こされていて、市は、その棄却を裁判所に申し立てているが、逆にその裁判で、判決や和解案等、はっきりさせて返礼品3割以外で、寄付者の損の補填を合法的に解決できるチャンス。市長の言う寄付者第一が実現でき、武雄市の信頼回復につながるものと思う。

改革透明化が必要なプロポーザル方式とは

通常、市の業務の入札は、受注額の低いほうに決まり、各業者名や入札額が公表される。

このプロポーザル方式は、技術や提案を重視するとして総合評価する選定方式となっている。

ただ、プロポーザル前に受注業者が決まっていると風評も多い。

今回、ふるさと納税の遅延業者が、このプロポーザルで選定されている、選定委員が、市の職員の5名で行われて、多様性にかけた選定になっていたとの問題も表面化し、この選定方式のあり方の見直しが必要になっている。

一方、最近全国ニュースでの日大の病院建設問題でもわかるように、この方式が、権力者の意向で選定が歪められやすいなどの重大な不正が生じる可能性も高い。

武雄市の場合、収入見込みで全体を委託する「指定管理制度」に

20億円 新体育館の建設 一度の説明もなしの着工 前代未聞

新体育館のバース図(外観の概要)は前回の通信でも指摘したが、元の球場の土手を低くして残すなど、スペースの無駄遣いを伝えていたと思う。ただ前議会では、「関係者への意見を聞いて」との私の一般質問に「このまま進める」との市の返答だった。

今12月議会の中で、建物の設計図が急に提出されたが、議員への一度の説明もなかったことが、牟田議員の指摘でわかった。

20億円以上の新体育館建設が、市民の代表である議員や市民への一度の説明もなしで決めようとする、小松市長の政治手法に落胆。

所管の総務委員会でも、4人が反対して、委員会否決になり、本議会の採決が俄然注目された。

市長や議長は、その後、急ぎ各議員に賛成するように頼みに回ったらしい。また、確かに議案は、工事契約の議決案件で、業者に問

ついでには、要綱で選定委員が副市長と部長の11人と庁内だけを規定。今回のふるさと納税は、業務委託のプロポーザルで、要綱には、「市職員及び専門家の中から」との規定なので、市職員だけの抜け道もある。武雄市の場合このプロポーザルの選定委員が何人で誰か? 参加業者が、何社で、内容はどうなのかが、非公開になっている。

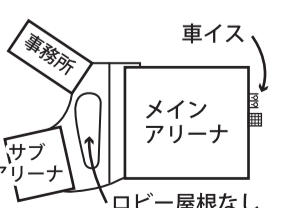
託のプロポーザルで、要綱には、「市職員及び専門家の中から」との規定なので、市職員だけの抜け道もある。武雄市の場合このプロポーザルの選定委員が何人で誰か? 参加業者が、何社で、内容はどうなのかが、非公開になっている。

今回のふるさと納税は、業務委託のプロポーザルで、要綱には、「市職員及び専門家の中から」との規定なので、市職員だけの抜け道もある。武雄市の場合このプロポーザルの選定委員が何人で誰か? 参加業者が、何社で、内容はどうなのかが、非公開になっている。

歴史的 新野球場の指定管理 武雄市初の議会否決

現在は、市内スポーツ施設は、武雄市体育協会に、指定管理者制度を利用して市の業務を委託している。(近隣市町も同様だが)今回新野球場について、分離して、令和4年度、1年間期限で民間の団体に指定管理を委託する議案。

私自身、なぜ一年なのかの疑問や、苦勞の多い古いスポーツ施設だけを武雄市体協にしてみらうのは、あまりにも条件が不平等では



ないのかとの疑問もある。前の総務委員会委員として、三重県内に視察に行ったが、体協と民間のミズノが新会社を作り、互いに補完して運営しており、すばらしいと思った。

だから、今回の民間の指定管理には反対だった。特に、今回の指定管理料は高額で、それを賄うために野球場の利用料金が他市より高くなることにも反対だった。

今回、総務委員会の吉原・江口・古川・川原議員が委員会採決で反対してもらい、本会議でも武雄市初の執行部提案議案が否決する、歴史的日となった(R3年12月16日)確かに、吉原議員の反対理由にあるように、今回のプロポーザル選定も、市長が改めることとした、職員を管理する中で、新野球場の把握や課題を知る良い機会との理由ももうなすけた。私は今回の否決を利用して、利用料の再検討を望む。

文化のまちづくり構想と 歴史資料館の復活

旧武雄市の時の文化の森構想から、図書館・歴史資料館が文化会館近くに整備された。

今年度、「文化のまちづくり構想」を、各方面から委員を集めて、「武雄の文化についてもう一度、原点から考える」とのことで期待。

特に、前市長の時、CD・DVDの市民要望が多いとして、歴史展示の蘭学館が解体されて、有料のレンタル店になり、現在は、廃止されて、学習室になり、だまし討ちの状況になっている。

歴史資料は、本のように毎回見るものではなく、入場者は少ないかもしれない。それを考えて、手本とした筑紫野市のように、別々に作らず、共通のトイレなどの経費を抑えるべく、図書館・歴史資料館として整備したわけで、今回そこを原点から考え、ぜひ蘭学館の復活を。

側化を 北方バイパス整備と 水害対策の両立

令和元年・令和3年の水害が起きて、今後、北方のバイパス整備で、道路が1〜2m高くなれば、北側の水害が、さらに拡大するのでは、との心配を聞くようになってきた。

ただ、都市計画決定をしているので、工事は進んでいく。そうならば、対策を考えなければならぬ。私の提案としては、バイパス南側を、盛り土して宅地化し、同時に、都市下水道を整備して広田川に接続する案。

また、市の進める高台移転は、住宅はできても、店舗は交通量の少ない所への移転は経営的に無理。そこでバイパス南側を、店舗の高台移転先としては、との考え。それを進めるためには、現在計画されている、バイパス南の付け替え市道が農業用として低く作られる計画を変更すべきではと、提案した。

カーボン0宣言と ごみ収集費の削減

小泉環境大臣の推進した、ゼロカーボン宣言都市にいち早く参加した武雄市だが、一体何をどうするのか疑問だった。

基本は、2013年(平成25年)を100として2050年(令和32年)に0を下げる計画。

ただびっくりする事は、今のままの人口減が続けば、何も新たにしないで、ゼロになると言う皮肉な真実。だから私はもつとマイナス20%位の目標で太陽光などの再エネを推進すべきと思う。

ただ市は、実行計画を作り、通常の省エネを推進し、市民にも協力を求めている。

ただ、以前のゴミ袋の値上げの時と同様に、市民に求めるならば、市にもやるべきことがあると思う。それはゴミの収集費用の問題で、武雄市は図のように伊万里市

	収集費	人口	世帯	面積
武雄市	2億9,953万円	4.9万人	1.6万	195㎡
伊万里市	1億5,000万円	5.3万人	2.3万	255㎡

【特別収集】 県内の市町で、武雄市だけが、特別収集と言って、スイーパーなどの事業系一般廃棄物を市が収集している。それが、2億円と高い収集費用につながっていると思う。しかも、特別収集は新規は断っていて、不公平な公共サービスになっているなど、見直しを提案。市民に省エネ協力を求める前に市がやるべきことをやってみてほしいと思う。

水害対策3方策 新創造的復興プラン

8月の水害を受けて、「新・創造的復興プラン」を市が発表した。目新しい内容は次の3つと思う。

【治水対策課の設置】

9月議会で、私が提案したものが、その時は設置しないとの答えだったが、思い直したのか設置に。ただ、これまで、長年担当していた建設課のある、まちづくり部でなく、ふるさと納税でもめている企画部に、これまで資産管理課でアセット管理をしていた職員2人を移動させて課を設置、牟田議員も指摘されていたが、ますます、実質担当者がわからなくなる。やはりまちづくり部に、集約すべきでは。

【田んぼダム】

これは、田んぼの関板を、高いものに替えて、上からでなく、穴やスリットから、ゆっくり放流するダムと言うより遊水池。これも関板を替えると、ちゃんと流れているか、管理も必要で、手間は必要。市は、まずモデル地区を決めて、協力してもらおうとの事。100haで15万t目標。

新潟県の村上市では、関の設置や、畔の草刈りや、見回り費用を支援。

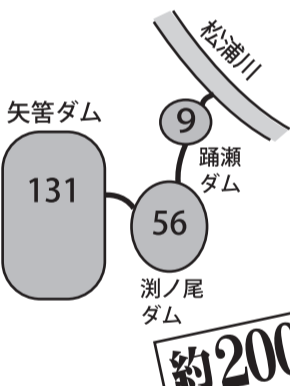
市内200のため池活用

これには、今回予算が、2000万円ついているが、大雨時の事前放流などの、農業用ため池の活用を調査する計画だが、なぜか、令和4年の夏までの話で、雨期に間に合わない計画に驚いた。

そこで、主なため池を先に、雨期に役立つよう提案した。答えはこれからの話。ただ、ため池を農業以外への利用を頼むなら、

水害対策に水道用ダム活用

武雄市の、水道料金が高かったのは、ダムの確保が原因。現在、水道は、西部水道企業団、工業用水は杵島工水に統合する。そこでは、水源を集約化している。だから、そのダムを水害対策に利用するのも可能な状況にある。現在は、山内町犬走の松浦川の水を、踊瀬ダムに引き、測ノ尾ダムに集めている。一方、矢筈ダムの水も導水管で、測ノ尾ダムに運んでいる。矢筈ダム131万tと測ノ尾ダムは56万t踊瀬ダム9万t、計196万tは東川登に



ペッパーの人口 激減

人型ロボットのペッパー(君)が、最近おらんごたーとの話を、聞いて調べると、平成29年から令和元年の3年間、ソフトバンクの社会貢献プログラム事業で、無償で、105台武雄市に貸し出され、市内小中学校に各5台程度が配置されていた。

しかし、その期限が切れた令和2年〜4年の3年間は、ソフトバンクの好意で、各学校1台の16台が残されているとの話。武内小など、玄関で案内をしているものもあるとのこと。ただ、令和5年からは、有料になり、1台月2万円になるの、市としては廃止の意向。また、市役所に平成28年からいたペッパーも故障していたが、令和3年7月に廃止して残念な状況。

保養村の キャン。プ場整備

市は、コロナ禍の屋外レジャーを見込んで、保養村にキャン。プ場を整備すると打ち出していた。しかし、最近、話を聞かないので、質問すると、12月にプロポーザルで業者を決定するとの話。どのようなキャン。プ場整備を考えているのか、を尋ねると、なんと市は整備せずに、場所を貸し出して、業者に経営をしようとの事。エン。トランス広場など3つの広場を年間3百万円で賃貸するとの話。

一方、今議会、山内町の乳待坊公園の管理を、年間88.8万円で、令和4年度から、民間に委託し、支出が拡大するならば、乳待坊公園も貸し出して、収入を上げた方が良いのではと思。う。眉山キャン。プ場も然り、対応が違うのは、観光課・公園課、生活学習課と、担当課が違うためか?

新幹線駅舎南口 「ホリ」出入口の話

今整備されている、武雄温泉駅新幹線駅舎の南向きの出入口は、設計にはなかった。私は、それに数年前に気づき、東側のバス乗り場に行くには、南出入口が必要と市の都市計画に言ったが、駅舎は、市ではなく鉄道運輸機構が作っているの、権限は無いとの返答。

そこで以前から、時々新幹線の進捗状況を探っていた、機構の準備室のホリさんに「南出入口がないと弱者には特に不便」との



お知らせ 私、宮本栄八は、4月の選挙には出馬せずに、3月をもって市議を終了する予定であることをお知らせします。次の通信が4月ごろになると思うので、ここでお知らせさせていただきます。理由としては、付度なして、自由に発言できる若手議員や女性議員を増やし武雄市を変える、夢の実現のためです。